

清水大内地区グリーンベルトにおける協働について

NPOのメンバーと県職員



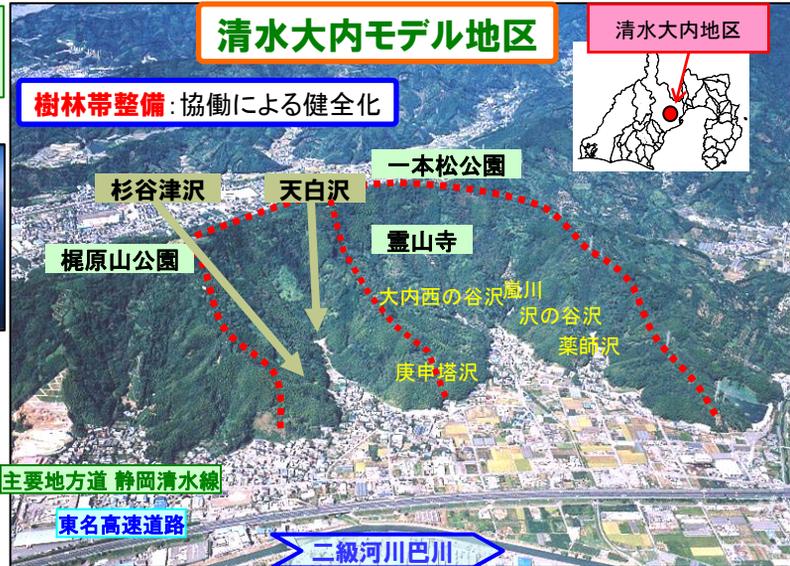
静岡市都市山麓グリーンベルト



NPO法人 森と水辺を育てる会

- 代表 理事長：大木一範 氏、副理事長：深澤勲 氏
会員 35名（内、理事14名）
経緯 H16. 1任意団体として設立
H17. 3県との「砂防サポートプログラム」協定書（協働協定）の締結
H20. 10. 1静岡市からNPO法人の認証
H21. 6. 2土砂災害防止功労者(団体)受賞
H21. 12. 14中部の未来創造大賞(優秀賞)受賞

清水大内モデル地区



清水大内地区

概要（静岡市都市山麓グリーンベルト整備事業）

土砂災害危険箇所が366箇所と集中している安倍川左岸～興津川右岸までの市街地に面した静岡市の北縁山麓（東西12km、面積65km²）を「静岡市都市山麓グリーンベルト整備区域」とし、の事業対象として、土砂災害防止施設の整備を重点的に推進しています。

従来、点・線で行ってきた土砂災害対策を、区域一帯ゾーンとして整備することで、自然環境の保全や、市街地の無秩序な都市化を防止し、良好な都市景観を形成することを目的としています。

また、「静岡市都市山麓グリーンベルト整備区域」の中でも、人家が集中し、竹林の拡大が著しい、静岡市清水区大内地区をモデル地区として、樹林帯の整備、維持管理を行っています。

協働（清水大内モデル地区）

- 平成12～13年度
地元住民との意見交換、ワークショップなどを実施。
- 平成14年度
県静岡土木事務所主催による作業会を開始。
地元ボランティア立上げに至る。
- 平成15年度～
地元主体による作業会を開始。
現在、NPO法人「森と水辺を育てる会」との協働により、樹林帯の整備、維持管理を行っています。

土砂災害防止
機能の強化

緑豊かな自然環境
の保全創出

協働（コラボレーション）

計画策定 伐採・植樹 維持管理
土砂災害に強い広葉樹林の育成

防災施設の整備
（砂防堰堤・擁壁）

土砂災害を防ぐ
里山づくり

防災施設の整備（砂防堰堤・擁壁）

静岡県（静岡土木事務所）では、清水大内モデル地区内にある8つの土石流危険渓流において、砂防堰堤の整備を進めることにより、土石流災害の防止を図っています。

また、がけ崩れ対策として、6つの急傾斜地崩壊危険区域において、擁壁等の整備を行っています。

平成21年度は、天白沢(左支川)、沢の谷沢で砂防堰堤の工事を行いました。

砂防堰堤（土石流危険渓流「杉谷津沢」など）



杉谷津沢



天白沢



庚申塔沢



大内西ノ谷沢

擁壁等（急傾斜地崩壊危険区域「大内日向山」など）



重力式擁壁

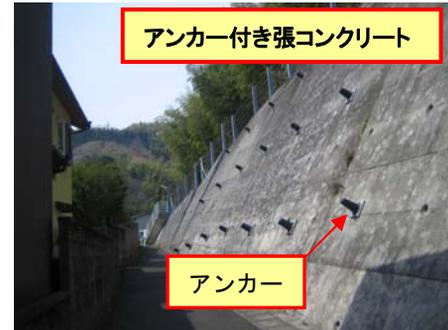
落石防護柵

大内杉谷津



もたれ式擁壁

大内赤地原



アンカー付き張コンクリート

アンカー

大内日向山

平成21年度は、2つの砂防堰堤の整備を進めました！！



砂防堰堤（沢の谷沢）H22.3月末現在、工事中



砂防堰堤（天白沢左支川）H21.6月30日完成

NPO法人森と水辺を育てる会と作業会を行いました！！

・作業会（全22回、桜祭や園芸市などのイベントの回数は除く）

- | | |
|--|---|
| 4月：植樹祭、竹の子掘りなど | 12月：草刈、竹炭作り、門松作りなど |
| 5月：竹の伐採、草刈、植樹など | 1月：現地調査・点検、作業小屋掃除など |
| 6月：竹の伐採、草刈、遊歩道の整備など
（今年度は大内遊水地の除草も実施） | 2月：竹の伐採、木柵階段・小段・作業
用通路の整備など |
| 7月～10月：草刈（天白沢、杉谷津沢）など | 3月：作業通路の整備、植樹スペースの
確保、植樹祭、4月の植樹祭準備など |
| 11月：草刈、植樹、作業用通路の整備など | |

活動状況



草刈り、竹の伐採

植樹

通路・小段の整備

遊歩道の整備

竹の有効活用(チップ)

竹の有効活用(竹細工)

竹の有効活用(竹炭)

住民参加（植樹祭）

住民参加（竹の子掘り）

住民参加（門松作り）

年間スケジュール



12月 門松・しめ縄づくり



3月 植樹



4月 竹の本数管理に繋がる
たけのご掘り



11月 竹炭づくり



6月 下草刈り



10月 管理道の整備



7月 竹筒ご飯炊き

関連新聞記事

